

再整備の考え方



東遊園地を、まちに向かって開いていく

残したいもの

— 次世代につなぎたい —

変えたいもの

— 安全や安心、利便性の視点から改変が必要 —

創りたいもの

— 神戸の都心・東遊園地の未来を見据えて新たに創りたい —

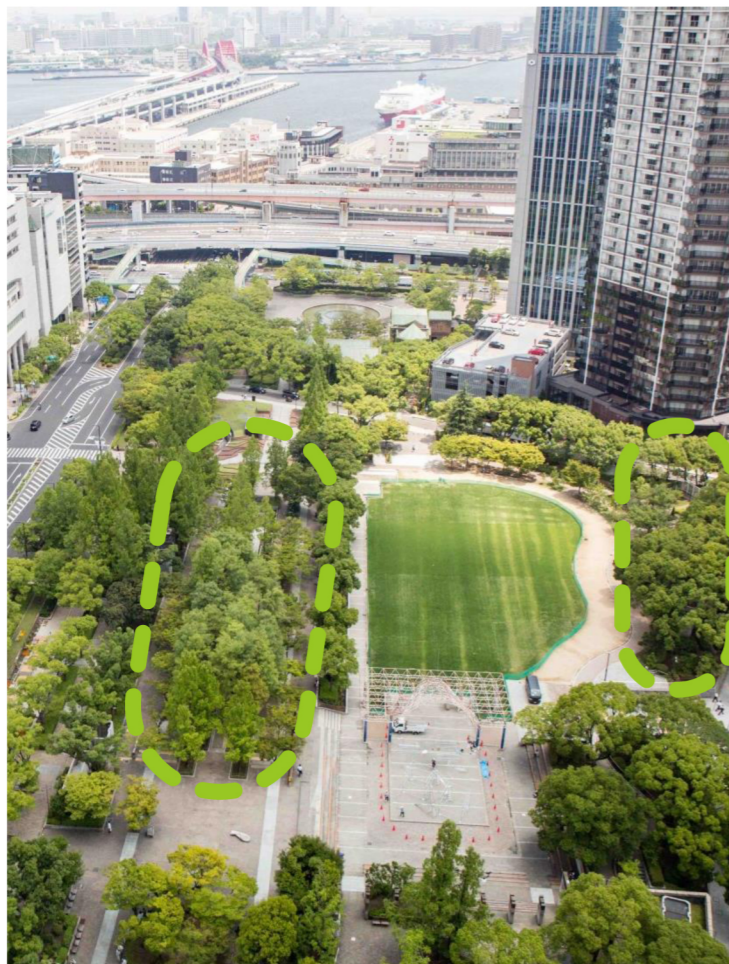
1. 『慰霊と復興のモニュメント』

- 阪神・淡路大震災を記憶し慰霊する空間を守る
- 復興の歩みを後世に伝える



2. 都心の豊かなみどり

- 神戸の都心三宮の貴重なみどりを保全し活用する
- シンボルとなるみどりや、緑陰をつくるみどりなど



1. 空間どうしの分断感

- フラワーロードと公園を分断している中低木や構造物
- 公園内の空間（広場）を分断している中低木や構造物
- 北側園地と南側園地の分断感



2. 閉鎖的な街角

- フラワーロード側から公園の入口がわかりにくい
- 旧居留地に対して閉鎖的なエントランス空間



3. ウォーターフロントへの結節点（南側園地）

- 南側園地が有効活用されていない（利用が少ない）

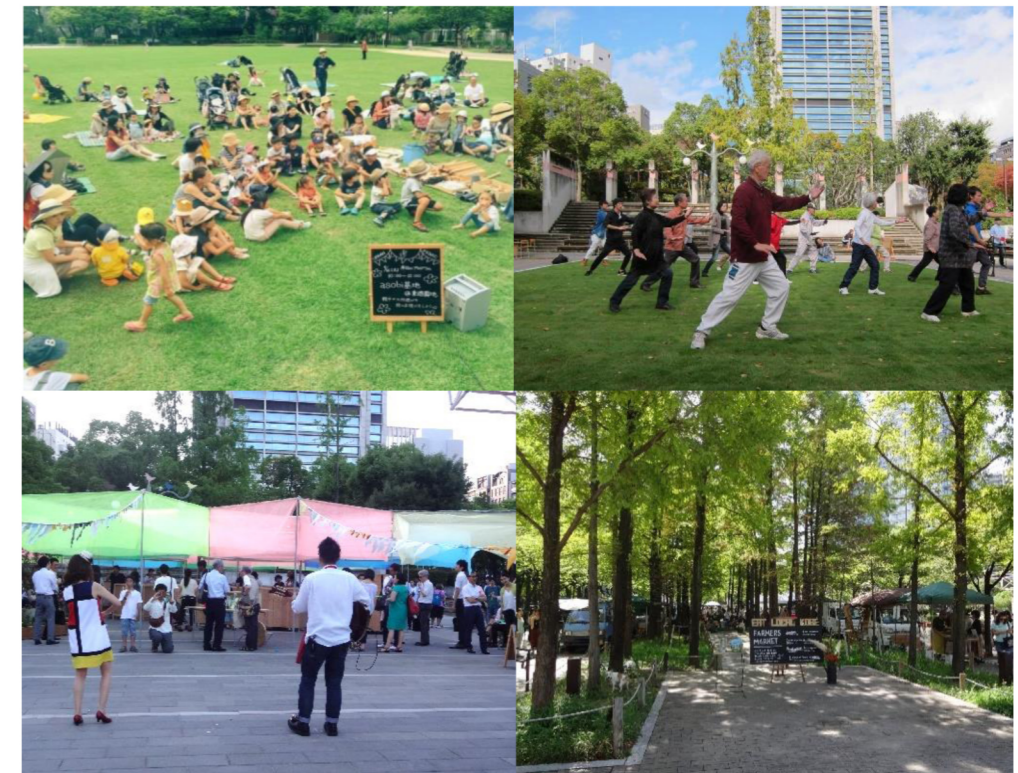


4. 東遊園地の歴史や文化を伝える彫刻等

- 神戸や東遊園地の歴史・文化を市民や来訪者につたえられるような彫刻やモニュメントの再配置の検討が必要

1. しなやかな器となる広場

- 日常的にくつろげる、市民のアウトドアリビングとなる芝生広場
- 多様なプログラムやイベントに対応できる広場



2. にぎわいや交流が生まれる拠点施設

- 北側園地
(例) カフェ+αの機能をもつ拠点施設
- 南側園地
1段階 既存建物を活用した花みどりの管理拠点
2段階 都心の回遊性を高める拠点施設

イメージ（南池袋公園）



3. 花時計

- 神戸のシンボルである、花時計の移設



